

日本太鼓財団 創立二十周年記念

浅草太鼓祭

題字 橘右之吉



日時 二〇一七年十一月三日（金・祝）
会場 隅田公園山谷堀広場
開演 十二時 終演 十六時

主催：公益財団法人 日本太鼓財団
後援：台東区、一般社団法人浅草観光連盟、
一般社団法人奥浅草観光協会、
馬道地区町会連合会、清川地区町会連合会
協賛： Supported by  日本財団 THE NIPPON FOUNDATION
協力：株式会社 宮本卯之助商店

ご挨拶



公益財団法人 日本太鼓財団
会長 松本 英昭

公益財団法人日本太鼓財団は、1997年11月11日に日本太鼓の普及・振興を目的として、当時の文部科学大臣より設立許可をいただき、本年20周年を迎えることができました。この間、日本財団並びにモータポート関連団体、太鼓関係者の皆様のご支援・ご協力のお陰をもちまして全国41都道府県に45支部を設置、加盟団体数は700チーム、会員数20,000名の組織となることができました。

当財団の活動の一端をご紹介しますと、全国の優秀チームによる「日本太鼓全国フェスティバル」、次世代を担うジュニアの健全育成と日本太鼓の後継者づくりを目的とする「日本太鼓ジュニアコンクール」、熟練した太鼓技術を後進に引継ぐことを目指す「日本太鼓シニアコンクール」、全国から障害者チームが一堂に会し実施する「日本太鼓全国障害者大会」、大学生による太鼓活動を支援する「大学太鼓フェスティバル」、とそれぞれ実施いたしております。

一方、海外においても太鼓の演奏は「日本の心」を伝えるものとして高く評価されています。当財団が設立されてから今日まで、47カ国で公演を行っており、本年度は、タイ、インド、シンガポールにおいて太鼓演奏を披露いたします。

日本太鼓財団は、太鼓界唯一の全国組織として今後とも日本太鼓の普及、振興を図ってまいりたいと考えております。

最後になりましたが、ご来場いただきました皆様には、日本太鼓の演奏を最後までごゆっくりお楽しみいただき、今回のフェスティバルを通じ、日本太鼓に対するご理解を深めていただければ幸いです。

ご 祝 辞



台東区長 服部 征夫

この度、公益財団法人日本太鼓財団が創立 20 周年を迎えられましたことを、心よりお慶び申し上げます。

日本太鼓は、古くは神事や祭礼において使用され、日本の伝統芸能の一つとして、各地の特色を色濃く反映しながら、大切に伝承されてきました。

勇壮華麗な太鼓は、見る人を魅了し、子供からお年寄りまで幅広い世代に愛され、演奏されています。

太鼓文化の発展のため、日本太鼓の伝承と普及・振興に、ご尽力いただいている皆様に深く敬意を表するとともに、厚く御礼申し上げます。

また、財団創立 20 周年を記念する日本太鼓フェスティバル「浅草太鼓祭」がここ台東区で開催されることは、誠に喜ばしく、光栄なことであります。

台東区は、国内外からの多くの観光客でにぎわうまちとして、日本、東京を代表する国内有数の観光地です。

近年、外国人にも人気を博している日本太鼓が、台東区で披露されますことに、大変意義深いものを感じます。

本日は、全国から 24 チームの皆様が参加され、ダイナミックで魅力溢れるパフォーマンスが披露されます。

参加される皆様には、日ごろの練習の成果を存分に発揮されることを大いに期待しています。

結びに、公益財団法人日本太鼓財団のますますのご発展と、全国の会員・賛助会員の皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げて、お祝いの挨拶とさせていただきます。

ご 祝 辞



株式会社 宮本卯之助商店
取締役会長 宮本 卯之助

この度、日本太鼓財団が創立 20 周年を迎えられ、その節目となる記念フェスティバルが、私ども所縁の浅草で「浅草太鼓祭」と銘打って盛大に開催されます事に対し厚く御礼申し上げますとともに、心からお祝い申し上げます。これまで長年財団のためにご尽力されてこられました関係各位の方々に深甚なる敬意を表する次第です。

今回会場となる隅田公園山谷堀広場は江戸時代、待乳山聖天宮の麓にあり隅田川をはさんで向島墨堤を望む江戸随一の桜の名所であり、庶民の憩いの場所でもありました。又当時、太鼓店がこの辺りに軒を並べていたこともあり、この度この地で開催されます事は誠に意義深いことと思っております。

太鼓は古来、神と人、人と人との意思の伝達手段として用いられ、次第に伝統芸能音楽の伴奏楽器として使用されて参りましたが、近年太鼓だけを取り出し「組太鼓」として飛躍的に発展し、若者を魅了しております。今では欧米を中心に世界中に愛好者が増え広がりを見せております。

この度の大会では全国各地から卓越したチームが、日頃の練習の成果を十二分に発揮されるものと期待しております。

公益財団法人日本太鼓財団の愈々のご発展と、この記念フェスティバルの成功をお祈り申し上げ、ご挨拶に代えさせていただきます。

ご 祝 辞



一般社団法人 浅草観光連盟
会長 富士 滋美

日本太鼓財団創立 20 周年記念日本太鼓フェスティバル「浅草太鼓祭」がここ浅草の地で盛大に開催されますことを心からお喜び申し上げます。

この度、公益財団法人日本太鼓財団は、前身の財団法人日本太鼓連盟の設立から数えて、今年、20 周年を迎えられます。これまで、日本太鼓の伝統の継承、保存並びに新たな創作活動の普及、振興を図るため、様々な活動が続けてこられました。

古くは情報伝達の手段として用いられたと言われる太鼓は、時代の流れとともに祭礼行事や郷土芸能の中で重要な役割を果たすようになりました。

この素晴らしい伝統を長きにわたり支えてこられたことに、深く敬意を表します。日本太鼓は、日本を代表する文化として、日本のみならず、海外においても広く普及され、愛されていると認識しております。

浅草に於いては、演奏会での勇壮な太鼓、三社祭の心弾む太鼓、歌舞伎での演出効果を引き出す太鼓、お座敷での軽やかな太鼓と無くてはならない文化、楽器として受け継がれ、浅草の子供たちは、太鼓とお神輿でお祭りに触れ、育ってゆく、太鼓が本当に似合う、太鼓なしではない街が浅草です。

日本全国から老若男女を問わず多くの皆様に愛して頂いており、近年では、特に国際的観光地として、海外からも多くのお客様が訪れて賑わいを見せている浅草です。

本日は、その浅草に日本全国から有数の太鼓チームが集い、浅草で太鼓の神髄を披露して頂けますことを期待しております。

結びに、公益財団法人日本太鼓財団の今後益々の御発展と、本フェスティバルの成功を祈念いたしまして、御挨拶いたします。

日本太鼓財団 創立20周年記念

浅草太鼓祭 プログラム

■ 開会式

オープニング演奏

東京都支部合同チーム

(東京都)

■ 演 奏

1. 橘太鼓響座「一」 (宮崎県)
2. 岩代國郡山うねめ太鼓保存会小若組 (福島県)
3. 岐阜県太鼓連盟 獅子の会 (岐阜県)
4. 橘太鼓「響座」 (宮崎県)
5. 和太鼓 琉翔 (千葉県)
6. 和太鼓会 和光太鼓 (東京都)
7. 長野県太鼓連盟合同チーム (長野県)
8. 上州榛東ふるさと太鼓 (群馬県)
9. 和太鼓 水心会 (東京都)
10. 宇都宮和太鼓四面会青龍組 (栃木県)
11. 本陣太鼓 (茨城県)
12. 向島游神太鼓 (東京都)
13. 相模龍王太鼓保存会 (神奈川県)
14. 高倉薬太鼓 (宮城県)
15. 御諏訪太鼓保存会 (長野県)
16. 倉敷天領太鼓 (岡山県)
17. 手取亢龍太鼓若鮎組 (石川県)
18. 和太鼓集団 野武士 (福岡県)
19. 秦野観光和太鼓 (神奈川県)
20. 上州藤岡上杉管領太鼓 (群馬県)
21. 愛宕陣太鼓連響風組 (福島県)
22. 高野右吉と秩父社中 (埼玉県)
23. 太鼓集団 天邪鬼 (東京都)

■ フィナーレ



日本太鼓財団東京都支部は、プロとして活動する団体と保存会を含め現在では24の団体が所属し、都内で行われる様々なイベントや歳時、公共事業などでも幅広く活動を行っています。

昨年度は加盟団体も大幅に増え、東京都支部としての新たな一歩を踏み出し歩き始めました。本日の「東京都支部合同チーム」はその加盟団体の中より集った有志による構成で、全国より出演していただく皆さまの先陣を切らせて頂きます。本年9月の国立劇場に続いて、日本太鼓財団の創立20周年記念のフェスティバルをこの地元東京浅草の舞台でお迎えすることにメンバー一同誇りと喜びに溢れています。

演奏曲は東京都支部支部長渡辺洋一作曲による「襷(たすき)」です。綿々と受け継がれてきた江戸の太鼓打ちの心意気、日本人の心に響く日本太鼓を再生させ、これからの若者がこの曲で“絆を纏って襷を継いでいく”と信じております。

子供から大人まで、年齢や所属団体の枠を越えて打ち手全員の想いを一つにして“熱く！楽しく！力強く！”演奏いたします。

1. 橘太鼓響座「一」（宮崎県）



橘太鼓響座「一」は、橘太鼓響座の「打頭」である岩切響一を中心に、若手メンバーが集結して結成したチームです。

尺八、津軽三味線、篠笛といったさまざまな音楽を追求し、国内外問わずさまざまなアーティスト等との共演を行っています。

岩切響一の思い描く新しい日本太鼓の可能性を追求し続けています。

2. 岩代國郡山うねめ太鼓保存会小若組（福島県）



私達の住んでいる郡山市は福島県のほぼ中央に位置し安達太良山や阿武隈川系につつまれ、水と緑豊かな経済と音楽の盛んな町です。

うねめ太鼓保存会は平成6年、郷土の伝説「うねめ物語」にちなみ女性だけで発足し、毎年8月に行われている「郡山うねめまつり」には10尺太鼓を先頭に子供山車に乗り、太鼓でまつりを盛り上げています。

私達小若組は、学校の週休2日制の導入に伴い平成13年に保存会の下部組織として誕生し、小学1年生から高校2年生23人で活動しています。

練習は「礼に始まり礼に終わり、楽しく、元気よく」をモットーに週2回おこなっています。3月にはスコットランドで活動している「無限響」の招待を得て、コンサートに出演したり、教会での演奏や小学校、高校を訪問し、演奏をとおして元気である姿を見て頂き、交流をはかってくることができました。

これからも感謝を忘れずに元気に頑張って演奏したいと思いますので応援をお願いします。

3. 岐阜県太鼓連盟 獅子の会（岐阜県）



我らは、1567年（永禄10年）岐阜城主織田信長と共に築いた誇り高き岐阜の大地を礎に、岐阜県太鼓連盟並びに日本太鼓財団岐阜県支部に集う、熱く燃え昇る魂の有志集団です。2015年（平成27年）理事総意の元、和田正人作調の「鼓楽」が完成しました。風情情緒を深め絵画的記憶に留める仕様として、羽土聡作調による篠笛奏も完成されました。

演技指導は、和田正人、高島奈々、羽土聡が快く担当し、奏者達の考え方も大いに取り入れながら、老若男女関係なく、愉快で真剣で仲間を思いやりながら練習日程を積み上げています。岐阜県太鼓まつり・高山市日本の太鼓頂上響演・国宝松本城太鼓まつり他県内外の地域イベント等へ応援演奏に伺っています。

次年度は海外演奏の企画も念頭に置いて、国内何処へでも喜んでお伺いさせていただきます。

4. 橘太鼓「響座」(宮崎県)



古来より、日本の音、文化の魂として鳴り響き続けている日本太鼓
今、日向の国の若者たちが
故郷宮崎の自然や歴史・文化・人の心を音に託し、力強い鼓動を伝える。
それは、大地に降り注ぐ太陽の音
それは、青く澄み渡る大海原のつぶやき
そして、それは彼方に聞こえる古の調べ
橘太鼓「響座」は、平成の新しい歴史を築き上げようと、
日向の鼓動を打ち鳴らす。

5. 和太鼓 琉翔(千葉県)



琉翔の「琉」の字から沖縄の太鼓?とよく聞かれることがありますが、代表が沖縄生まれであることからふるさとの一文字琉と大きく翔くようにと願いをこめ和太鼓琉翔と命名し、1997年6月に結成し、ちょうど20年経過したところです。

現在では、親子、夫婦、孫も加わった家族ぐるみのメンバーが揃って日本太鼓を楽しむ集団となりました。

5歳から70歳までの年代が集まり一打魂身をモットーに日本太鼓を響かせるために励んでいます。

応援よろしくお願い致します。

6. 和太鼓会 和光太鼓（東京都）



和太鼓会和光太鼓は“異体同心”のごとく、打ち手同士が呼吸を合わせて一打一打に心を込める“粋な粋さばき”を継承したく、活動しております。静と動を巧みに活かした演奏は、各方面から高い評価を得ております。

時代の流れに捉われず、日本太鼓本来の音色を打ち鳴らし、律動を重ね、音楽の三要素を目指し、“心で打つ”を信条に、本物の“太鼓道”を守り歩んでおります。

7. 長野県太鼓連盟合同チーム（長野県）



長野県太鼓連盟は昭和 50 年やまびこ国体開会式の合同揃い打ちの要請により、46 団体によって当時信州太鼓連盟として結成されました。当時約 400 人による史上初の日本太鼓開会式は驚異的な成果を挙げ、太鼓界発展の礎となりました。

以後、村おこし街づくりと青少年の心身の練成に資し、太鼓の普及、底辺の拡大を図ってまいりました。

1998 年長野冬季オリンピックには「もう 1 つの金メダルを太鼓で」をスローガンに文化芸術プログラムに参加し、世界初の 2,000 人の揃い打ちと、閉会式では会場を埋め尽くす巨大なステージで勇壮・豪壮・華麗なる響きを轟かせました。全魂もって打ち鳴らしたこの演奏は大会に華を添え、世界の人々に日本古来の伝統音楽芸能の理解とともに、強い感動と深い感銘を与え日本伝統文化の誇りと確信しております。

本日は長野県太鼓連盟合同曲「天地響鳴」（てんちきょうめい）を演奏いたします。

8. 上州榛東ふるさと太鼓（群馬県）



上州榛東ふるさと太鼓は平成元年に村教育委員会主催の和太鼓教室を経て、平成２年に創作和太鼓チームとして発足しました。

活動の続けながら和太鼓プロ集団が主催するワークショップに参加し、太鼓の基礎・基本・応用を身に付け、曲もメンバー自ら作曲し現在では多方面で活動しています。また平成１１年にはジュニアチームも発足し、これまで日本太鼓ジュニアコンクールに群馬県代表として８回出場し、２度の特別賞を受賞させていただきました。

世代交代を余儀なくされる中、日々試行錯誤しながら稽古に励んでおります。

まだまだ未熟なチームではありますが、本日は一人でも多くの観衆の皆様にご心こもった演奏をお届けできるよう、メンバー丸となって演奏させていただきます。

9. 和太鼓 水心会（東京都）



和太鼓水心会は、BOATRACEの売上の一部を財源とした社会貢献活動を行っている公益財団法人日本財団および関係団体の役職員有志を中心として、2007年に発足しました。

日本太鼓財団のご協力の下、邦楽アカデミー大元組の湯澤元一代表にご指導をいただき、港区虎ノ門での琴平町夏祭り、邦楽アカデミー発表会などでの発表を目指して練習をしています。

10. 宇都宮和太鼓四面会青龍組（栃木県）



当会は、栃木県宇都宮市にある「ゆりかご保育園」「ゆりかごきっずなーさーりーすくーる」という2つの保育園の卒園生を中心に平成14年に結成されました。

現在、市内の小中高生約35名が3つのクラスに分かれ、挨拶や礼儀、感謝の気持ちや気配り、仲間との協調性等を大切にしながら日本太鼓を通じて人として成長することを目標に週1～3回の練習に汗を流し、地元のお祭りやイベント、福祉施設等で演奏しています。温かい御声援を宜しくお願い致します。

11. 本陣太鼓（茨城県）



私たち本陣太鼓は、平成17年子育て中の主婦と子どもたちで結成された太鼓サークルです。家庭、育児、勉強、仕事とそれぞれが忙しい中でも、太鼓と一緒に打つ仲間が心の拠り所になる『我が家』になれること、チームワークを大事にしています。

近隣地域のイベントや施設慰問で活動しながら、日本太鼓財団の講習会にも参加し、技術や太鼓に対する姿勢も学んでおります。

様々な岐路を経て今自分達の精一杯の力で、会場の皆様の胸を借りる想いで元気に演奏をしたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。

12. 向島游神太鼓（東京都）



游神－ YUUSHIN －

「神を遊ぶ。神は精神。心に同じ精神をほしいままにして楽しむ。心を遊ばせる。」 ～出典 楚辞～

游 － YUU －

帆を立てて旅をするという意味もある。

帆を立て旅をしながら、その先々で人々を楽しませる…

そんな風にもとらえる事ができます。

東京スカイツリー建設で変貌し始めた町。東京は墨田区向島を拠点に活動しています。和太鼓の基本を重点に置き日々稽古に励んでいます。

13. 相模龍王太鼓保存会（神奈川県）



相模龍王太鼓保存会は昭和 56 年に有志が集い発足した創作和太鼓集団です。“青少年の健全な育成”を目的に活動しております。御諏訪太鼓宗家・故小口大八氏の指導により御諏訪太鼓の伝承に努めるとともに、日本太鼓の新たな可能性の追求をしつつ創作活動に励んでおります。世界最大級の太鼓（8 尺）『ん太鼓』の認定奏者を 3 名輩出し各博覧会での演奏に参加しております。

会員構成は、3 歳～小学生までの少年部、中学生～の青年部、壮年層の鼓友部、保護者から成る鼓楽部の 4 部構成で 40 余名で活動しております。

今後も伝統文化の保存継承に努めると共に日本太鼓の新たな可能性の追求をしてまいります。

14. 高倉薬太鼓（宮城県）



平成4年高倉地区のコミュニティ活動の一環として発足。薬（ひこばえ）とは樹木の切り株などから芽吹く新芽のこと。「どんなに苦境の中でも芽吹く新芽のように力強い生きるように」との願いが込められています。私たち希望と勇気・感動を与えられる演奏を目指しています。

15. 御諏訪太鼓保存会（長野県）



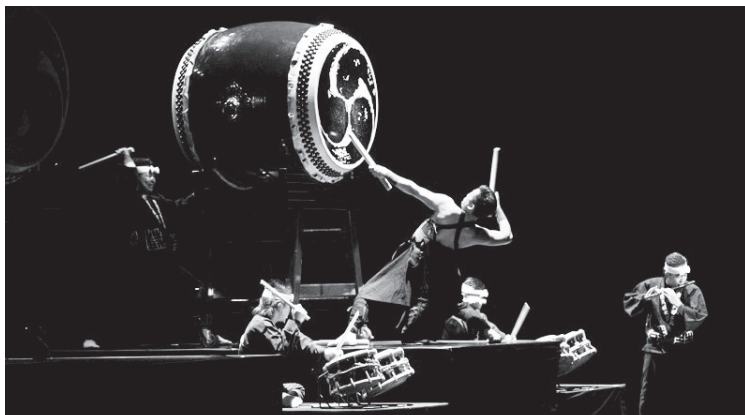
御諏訪太鼓保存会は、諏訪大社の神楽（かぐら）の鼓舞楽（こぶがく）を伝承する無形文化財であり、地元を代表する郷土芸能であります。

昭和26年に復元以来、東京オリンピックをはじめ1998年の長野冬季オリンピックの閉会式では文化芸術プログラムに参加し、世界初の2,000人の揃い打ちと、日本の祭りを飾る勇壮な太鼓の響きを全世界に届けました。

県外・海外での演奏にも数多く参加し、テレビではNHK大河ドラマ「武田信玄」「織田信長」「風林火山」への出演が有名であります。

国内外に多くの団体を育て、長い歴史に刻まれた代表的な日本の伝統ある太鼓として知られております。

16. 倉敷天領太鼓（岡山県）



力強さはもちろんアドリブ等も取り入れた高度な芸術性を持つ太鼓グループ。活動範囲は、国内はもとより海外にも積極的に行っています。

1982 年より毎年定期コンサートを開催するほか、あらゆるジャンルとのジョイントも積極的に行っており、今や日本を代表する太鼓グループである。

17. 手取亢龍太鼓若鮎組（石川県）



手取亢龍太鼓若鮎組は、川北町が主催する小中学校の生徒を対象とした青少年講座「太鼓教室」の受講生と、手取亢龍太鼓保存会の会員等保育園児から、小中学生までの幅広いメンバーで、平成 10 年に結成されました。

古来より、地域に伝わる「虫送り太鼓」のリズムを基本とし、川北町の自然や文化を表現します。

現在は、幼稚園児から高校生まで 15 名のメンバーで地元の「川北まつり」をはじめとして各種イベントに出演。

「日本太鼓全国ジュニアコンクール」では、平成 11 年から 13 年までの 3 年連続出場、特に平成 13 年の第 3 回大会では準優勝、又平成 17 年第 7 回大会、平成 25 年第 15 回大会、平成 28 年 18 回大会では念願の栄冠を頂きました。

「一生懸命が美しい」を合言葉に身の引き締まる想いで、稽古に頑張っています。

18. 和太鼓集団 野武士（福岡県）



1998 年、「野武士」を結成以来、日本はもとより海外でも多く演奏しています。これからも、上を目指して努力していきます。

2004 年 皇太子御観覧福岡とびうめ国文祭演奏

2007 年 インターナショナルドラムフェスティバル in 台湾日本代表
韓国ピョンテック市パーカッションフェスティバルにて公演

2008 年 韓国ソウル viva arts valley festival 出演

映画「隠し砦の三悪人」出演
大相撲ロサンゼルス場所 演奏
上海国際芸術祭 日本代表

2009 年 台湾ワールドドラムフェスティバル 10 日間公演

2010 年 八千代座 100 周年記念コンサート 出演
広島厳島神社「黒澤明展」出演

19. 秦野観光和太鼓（神奈川県）



秦野市は神奈川県西部に位置する緑豊かな街です。秦野市を日本太鼓を通して全国的にPRしようと、2000 年 6 月に太鼓集団「鼓粋」を指導団体に招き、秦野市観光協会のもと発足されました。秦野市は全国「名水 100 選」でも 1 位となり今では全国的に「水のおいしい街」として名を広めています。

秦野観光和太鼓の会員は、現在小学生から 70 代の幅広い年齢層で構成され、様々な立場で日本太鼓を楽しみ、日本太鼓を通して青少年の育成にも一役を担っています。丹沢祭り、たばこ祭り、など、市内外のイベントに数多く出演し、街の活性化にも貢献しています。

創設以来、日本太鼓ジュニアコンクール、シニアコンクールなど数多くのコンクールにも出場し、日々日本太鼓を楽しむと同時に技術の向上に励んでいます。また、東日本大震災の被災地訪問を行うなど、日本太鼓を通して様々な活動を行っています。

20. 上州藤岡上杉管領太鼓（群馬県）



上州藤岡上杉管領太鼓は、その演奏の中に「凜とした精神性」と「魂を震わせる響き」「力と汗がほとばしる躍動感」「戦国武将の男らしい、いさぎよさ」などを求めている和太鼓集団です。

藤岡市では毎年、全国太鼓フェスティバル「太鼓エモーション」を開催しています。また文化庁の海外派遣事業で中国の無錫市、江陰市で海外公演を行うなど精力的な活動を行っています。今後も日本の伝統文化や地域文化の向上を目指して努力をしていきたいと考えております。

21. 愛宕陣太鼓連響風組（福島県）



1994年夏、福島県福島市松川町において、創作和太鼓に情熱を懸ける男達によって「愛宕陣太鼓連響風組」を結成。今年で、24年目を迎えます。一心不乱に太鼓を打ち込み、理屈抜きでストレートに観衆の心に響かせる演奏スタイルは結成から変えることなく貫いてきました。

これからも変わらぬ信念を持って、精一杯太鼓を打ち込み、観て聴いてくれる方々の気持ちを揺さぶる演奏ができるよう、初心を忘れず活動を続けていきたいと考えています。

22. 高野右吉と秩父社中（埼玉県）



秩父屋台囃子は「京都の祇園」「飛騨の高山」と並んで日本三大曳山祭「秩父夜祭」において、山車の中で演奏されるお囃子です。重さおよそ 20 トンの豪華絢爛な山車とそれを曳く 300 人あまりの曳き子の息をひとつにそろえるのがこの太鼓の特徴です。

「高野右吉と秩父社中」は、秩父屋台囃子の無形文化財保持者として埼玉県で指定された前代表・高野右吉が創設しました。今までに指導した人数は数千名に及びます。

2004 年に皇太子殿下御前での演奏をはじめ、国内はもとより、アメリカ・カナダ・ロシア・オーストラリア・中国・ヨーロッパ各国で公演し絶賛されております。

23. 太鼓集団 天邪鬼（東京都）



1986 年、東京を拠点に世界的な活動を続けるプロ集団として設立。

理想の音を求め未踏の境地への挑戦を続け、“伝統”と“創造”の中で新たな日本太鼓音楽の確立を目指しています。

国内の演奏はもとより、海外公演は現在までに北米・中南米・アジア・ヨーロッパ等 50 数カ国に及び圧倒的な支持を得ています。近年では東京スカイツリーのオープニング演奏や国立劇場“日本の太鼓”、日本テレビ“元気のアプリ”番組出演など多岐に亘り演奏活動を続けています。

また全国各地の創作太鼓の作曲指導に当り、各地の和太鼓コンテストでは数多くの優勝者を輩出。

代表渡辺洋一は和太鼓指導の第一人者として、2003 年度に文化庁から初の文化交流使の任命を受け国際的に日本太鼓を広める活動も意欲的に行っています。

☆公益財団法人日本太鼓財団 2017 年度の事業活動☆

■ 第 21 回日本太鼓チャリティコンサート

期 日：2017 年 5 月 16 日（火）
場 所：草月ホール（東京都港区）
共 催：認定 NPO 法人 シャイン・オン・キッズ
出演団体：6 団体

■ 第 2 回大学太鼓フェスティバル

期 日：2017 年 8 月 31 日（木）
場 所：文京シビックホール（東京都文京区）
共 催：大学太鼓フェスティバル実行委員会
出演団体：14 団体

■ 日本太鼓財団創立 20 周年記念

第 21 回日本太鼓全国フェスティバル

期 日：2017 年 9 月 21 日（木）
場 所：国立劇場（東京都千代田区）
主 管：関八州太鼓連合、日本太鼓財団東京都支部
出演団体：15 団体

■ 第 19 回日本太鼓全国障害者大会

期 日：2017 年 10 月 1 日（日）
場 所：御殿場市民会館（静岡県御殿場市）
共 催：社会福祉法人富岳会
主 管：日本太鼓財団静岡県支部
出演団体：27 団体

■ 第 32 回国民文化祭・なら 2017

第 17 回全国障害者芸術・文化祭なら大会「太鼓の祭典」

期 日：2017 年 10 月 15 日（日）
場 所：DMG MORI やまと郡山城ホール（奈良県大和郡山市）
主 催：文化庁、奈良県、奈良県教育委員会、第 32 回国民文化祭奈良県実行委員会、第 17 回全国障害者芸術・文化祭実行委員会、大和郡山市、大和郡山市教育委員会、第 32 回国民文化祭大和郡山市実行委員会、公益財団法人日本太鼓財団
主 管：日本太鼓財団奈良県支部、奈良県太鼓連盟
出演団体：46 団体

■ 第 14 回日本太鼓シニアコンクール

期 日：2017 年 11 月 19 日（日）
場 所：津幡町文化会館「シグナス」（石川県津幡町）
主 催：公益財団法人日本太鼓財団、公益社団法人石川県太鼓連盟、一般財団法人石川県芸術文化協会、北國新聞社
主 管：日本太鼓財団石川県支部、北陸三県太鼓協会
出場団体：41 団体

■ 第 20 回日本太鼓ジュニアコンクール

期 日：2018 年 3 月 25 日（日）
場 所：金沢歌劇座（石川県金沢市）
主 管：日本太鼓財団石川県支部、公益社団法人石川県太鼓連盟
出場団体：55 団体程度

■ 日本太鼓全国講習会

2017 年 6 月 24 日（土）・25 日（日） 福島県郡山市
2017 年 9 月 16 日（土）・17 日（日） 長野県箕輪町
2018 年 2 月 17 日（土）・18 日（日） 宮崎県新富町

公益財団法人日本太鼓財団 概要

< 設 立 日 > 1997 年 11 月 11 日

< 公益財団移行日 > 2012 年 4 月 1 日

< 資 産 > 基本財産 3 億円

< 加盟支部数 > 45 支部 (41 都道府県)

< 加盟団体数 > 約 700 団体

< 会 員 総 数 > 約 20,000 人

< 役 員 >

会 長 松本 英昭 (一社) 地方公務員共済組合協議会会長

副会長 長谷川 義 豊の国ゆふいん源流太鼓代表・全九州太鼓連合名誉会長

副会長 高野 右吉 高野右吉と秩父社中代表

理事長 塩見 和子 (公財) 日本音楽財団会長

常務理事 大澤 和彦 常 勤

理 事 石井 幹子 (株) 石井幹子デザイン事務所代表取締役

大宅 映子 評論家

島津 久永 (公財) 山階鳥類研究所顧問

中西 由郎 (公財) 日本ゲートボール連合専務理事

山内 強嗣 (社福) 富岳会理事長

評議員 大竹 英雄 (公財) 日本棋院顧問 (名誉碁聖)

岡田 知之 (公社) 日本吹奏楽指導者協会会長

河合 睦夫 越中いさみ太鼓保存会相談役・富山県太鼓協会名誉会長

北村 汎 元駐英大使

佐藤 淳子 (一財) ライフ・プランニング・センター理事

高島 肇久 (株) 海外通信・放送・郵便事業支援機構取締役会長

濱田麻記子 (株) DHC テレビジョン代表取締役社長

古屋 邦夫 御諏訪太鼓保存会会長・長野県支部支部長

宮崎 義政 銚子はね太鼓保存会会長・千葉県支部支部長

渡辺 貞夫 音楽家

監 事 長内 健 弁護士 長内法律事務所

竹村 葉子 弁護士 三宅・今井・池田法律事務所

(敬称略)

詳細につきましては、当財団のホームページをご覧ください。

www.nippon-taiko.or.jp

今の足跡は未来につながります

日本財団遺贈寄付サポートセンターでは、遺言書により遺産を寄付する「遺贈寄付」に関することだけでなく、人生のしめくくりを安心して迎えるための相談について、専門家と連携して無料でサポートします。



資料請求、お問合せはこちらにご連絡ください。

 **0120-331-531**

日本財団 遺贈寄付サポートセンター

検索 

主催 / Sponsored by



〒 107-0052 東京都港区赤坂 1-2-2

Akasaka 1-2-2, Minato-ku, Tokyo 107-0052

Tel (03) 6229-5577 Fax (03) 6229-5580

URL : <http://www.nippon-taiko.or.jp>

E-mail : info@nippon-taiko.or.jp